

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 協和エクシオ

上場取引所 東

コード番号 1951 URL <https://www.exeo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船橋 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 樋口 秀男

TEL 03-5778-1105

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	106,146	15.7	4,162	4.5	5,061	31.2	3,071	31.0
2020年3月期第1四半期	91,722	48.2	3,982	2.4	3,856	8.3	2,344	14.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,668百万円 (15.4%) 2020年3月期第1四半期 1,445百万円 (53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.60	27.56
2020年3月期第1四半期	20.81	20.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	411,785	267,598	64.2	2,372.62
2020年3月期	444,905	270,109	59.9	2,395.16

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 264,362百万円 2020年3月期 266,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		41.00		41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525,000	0.1	32,000	2.9	33,000	7.6	21,100	35.2	189.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	117,812,419 株	2020年3月期	117,812,419 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	6,390,197 株	2020年3月期	6,566,121 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	111,308,602 株	2020年3月期1Q	112,634,782 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手)

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、国内景気は急速に悪化し先行き不透明な状況が続いております。

情報通信分野におきましては、加速度的に進化するI o T時代のICT基盤として5Gの商用サービスが始まり、総務省や各通信キャリアからは5G基地局設置計画の前倒しが発表されるなど、堅調な投資動向にあるほか、働き方や生活スタイルの変化に伴い、デジタル技術を活用した業務改革等が進められており、企業のデジタルトランスフォーメーションの取り組みが加速しております。

また、建設分野におきましては、東京オリンピック・パラリンピックが延期になったものの大都市圏を中心に大型プロジェクト等の着工が続いており、省エネルギー対策・防災などの建築物の高機能化に資する維持・修繕工事も安定的に推移しております。

このような事業環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルスの影響でサプライチェーンの停滞等が若干あるもののその影響は限定的であると考え、西日本子会社と主要工事の受注・工程管理システムの共同利用を開始するなど、一層のシナジー創出に注力するとともに、通信キャリア以外の新たな分野における事業拡大に尽力しました。グローバル分野では、各国のロックダウンの影響を受けているものの継続的な営業活動を行い、ニューノーマル時代に備えた事業基盤の確立に努めております。

また、当社グループにおいても、デジタルトランスフォーメーションを推進しており、在宅勤務等に対応するためのネットワークセキュリティの強化や業務プロセス改革に取り組んだほか、コーポレートサイトの全面リニューアルを行い、スマートフォンやタブレット端末などからも快適にご覧いただけるデザインを採用しコンテンツも一新しました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は1,469億5千1百万円(前年同期比117.6%)、完成工事高は1,061億4千6百万円(前年同期比115.7%)となりました。損益面につきましては、営業利益は41億6千2百万円(前年同期比104.5%)、経常利益は50億6千1百万円(前年同期比131.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億7千1百万円(前年同期比131.0%)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

報告セグメント	協和エクシオ グループ (注) 2		シーキューブ グループ		西部電気工業 グループ		日本電通 グループ	
	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比
受注高 (注) 1	104,303	120.9%	15,849	110.2%	14,166	100.4%	12,631	124.0%
完成工事高 (注) 1	72,526	118.2%	12,816	99.5%	11,953	117.9%	8,849	120.4%
セグメント利益	2,815	77.9%	518	231.7%	404	— (注) 3	479	230.8%

(注) 1. 「受注高」「完成工事高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 報告セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループを含んでおりません。

3. 前年同期はセグメント損失18百万円であります。

(協和エクシオグループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野において在宅勤務の増加等により光開通工事が受注高・完成工事高ともに堅調に推移し、NCC分野においては、都市部の5G無線基地局工事の受注も始まり順調に推移しました。都市インフラ事業では、前年度に引き続きデータセンター等の大型工事を受注しており、システムソリューション事業では、GIGAスクール関連の大型案件を受注するなど好調に推移しました。

(シーキューブグループの概況)

通信キャリア事業では、NCC分野の無線基地局工事が堅調に推移しており、都市インフラ事業・システムソリューション事業では、鉄道の駅ホーム監視設備工事や教育系のLAN構築ソリューション案件等に取り組みました。

(西部電気工業グループの概況)

通信キャリア事業では、NTTグループのアクセス分野の光開通工事などが堅調に推移しており、都市インフラ事業・システムソリューション事業では、太陽光発電設備工事や高速道路交通システム関連工事などの進捗が順調に推移しました。

(日本電通グループの概況)

通信キャリア事業では、NCC分野の無線基地局工事が順調に推移しており、都市インフラ事業・システムソリューション事業では、CATV工事やGIGAスクール関連の大型案件を受注するなど好調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ331億2千万円減少し、4,117億8千5百万円となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ306億8百万円減少し、1,441億8千6百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ25億1千1百万円減少し、2,675億9千8百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響は、現時点で限定的であると考えておりますが、今後海外におけるロックダウンが長引くなど諸情勢の変化等により業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	47,550	67,970
受取手形・完成工事未収入金	166,098	98,448
有価証券	898	898
未成工事支出金等	42,542	54,045
その他	7,013	10,969
貸倒引当金	△94	△191
流動資産合計	264,009	232,139
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	34,447	34,419
土地	58,654	58,651
その他(純額)	14,575	14,097
有形固定資産合計	107,677	107,168
無形固定資産		
のれん	7,640	7,199
その他	5,136	4,786
無形固定資産合計	12,777	11,986
投資その他の資産		
その他	60,877	60,945
貸倒引当金	△436	△454
投資その他の資産合計	60,440	60,491
固定資産合計	180,895	179,645
資産合計	444,905	411,785

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	60,037	41,500
短期借入金	6,817	6,024
未払法人税等	7,863	1,302
未成工事受入金	9,762	10,900
引当金	7,779	4,664
その他	25,872	23,182
流動負債合計	118,132	87,574
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	8,965	8,921
引当金	750	547
退職給付に係る負債	8,436	8,585
その他	8,510	8,557
固定負債合計	56,662	56,612
負債合計	174,795	144,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	49,604	49,784
利益剰余金	211,195	209,779
自己株式	△11,795	△11,380
株主資本合計	255,893	255,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,210	3,799
為替換算調整勘定	193	△460
退職給付に係る調整累計額	6,156	5,951
その他の包括利益累計額合計	10,559	9,290
新株予約権	318	281
非支配株主持分	3,337	2,955
純資産合計	270,109	267,598
負債純資産合計	444,905	411,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
完成工事高	91,722	106,146
完成工事原価	79,382	92,411
完成工事総利益	12,340	13,734
販売費及び一般管理費	8,357	9,572
営業利益	3,982	4,162
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	397	736
その他	380	477
営業外収益合計	784	1,220
営業外費用		
支払利息	81	42
固定資産除却損	1	189
その他	828	89
営業外費用合計	910	321
経常利益	3,856	5,061
税金等調整前四半期純利益	3,856	5,061
法人税等	1,570	2,109
四半期純利益	2,286	2,952
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58	△119
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,344	3,071



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,286	2,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,022	△412
為替換算調整勘定	271	△666
退職給付に係る調整額	△89	△204
その他の包括利益合計	△840	△1,283
四半期包括利益	1,445	1,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,501	1,802
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	△133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスに関する不確実性と会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの流行による影響は、現時点で入手している情報より、その影響は限定的であると仮定して重要な会計上の見積りを行っています。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況や経済への影響によっては、第2四半期連結会計期間以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。